

世界の美術館・至宝への誘い

講師 西洋美術史家 木村 泰司

この講義では、日本に居ながらにして世界トップレベルの美術館を巡ります。それぞれの美術館の歴史とその特徴。そして、講座では各美術館が誇る美術史の「大いなる遺産」である名品コレクションとその成り立ちについてご案内致します。

ヨーロッパの美術館は王室コレクションが一般公開されたものが多く、また王族が存在しなかったアメリカでは、「身分高き者はそれに伴う義務がある」の言葉通り、アメリカ屈指の名門一族の尽力で、世界に名だたる美術館として成長したものが殆どなのです。

名家あるところに名品ありき。欧米屈指の美術館が誇る至宝の数々を、西洋美術史の系譜を辿りながらご一緒致しますしょう。
(講師記)



©高木昭仁

●プログラムは2018年9月まで続きます。各テーマは裏面をご覧ください。

回	期日	美術館	テーマ
1	4/21	アムステルダム国立美術館	～ 17世紀オランダ絵画の黄金時代
2	5/19	ウィーン美術史美術館	～ ハプスブルク家代々の高貴な遺産
3	6/16	ロンドン・ナショナル・ギャラリー	～ 初期ルネサンスからモダニズムへ

■日 時 2018年4月21日、5月19日、6月16日 全3回
第3土曜 13:00～14:30

■受講料 会員 9,720円 一般(入会不要) 11,664円

(入会金は5,400円、3年間有効。70歳以上は入会金無料、証明書が必要です。)

<講師紹介> きむら・たいじ 1966年生まれ。カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を取得後、ロンドンのサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。知識だけでなく、エスプリを大切に。全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『名画の言い分』『巨匠たちの迷宮』『印象派という革命』(以上集英社)、『謎解き西洋絵画』(洋泉社)、『美女たちの西洋美術史』(光文社新書)、『名画は嘘をつく』『名画は嘘をつく2』『名画は嘘をつく3』(ビジュアルだいわ文庫)、『世界のビジネスエリートが身につける教養・西洋美術史』(ダイヤモンド社)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

*講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合は、講座を延期または中止する場合があります。

*手続きの際にご記入いただく皆様の個人情報は受講連絡やお知らせ・講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 湘
朝日JTB・交流文化塾 | 南

〒251-0052 藤沢市藤沢438-1 ルミネ藤沢店 9F
電話 0466-24-2255 URL: <http://www.asahiculture.jp/shonan>

- 2017年10月 ヴァチカン美術館
～ 世界最小国家の世界最大級の聖なる美の殿堂 ～
- 11月 ウフィツィ美術館
～ メディチ家からハプスブルク家へ ～
- 12月 ベルリン絵画館
～ 欧州屈指のオールド・マスターズの宝庫 ～
- 2018年1月 ドレスデン・アルテ・マイスター絵画館
～ ザクセン選帝侯所縁のドレスデンの宝石 ～
- 2月 ミュンヘン・アルテ・ピナコテーク
～ ヴィッテルスバッハ家の名品コレクション ～
- 3月 プラド美術館
～ スペイン王家のロイヤル・コレクション ～
- 4月 アムステルダム国立美術館
～ 17世紀オランダ絵画の黄金時代 ～
- 5月 ウィーン美術史美術館
～ ハプスブルク家代々の高貴な遺産 ～
- 6月 ロンドン・ナショナル・ギャラリー
～ 初期ルネサンスからモダニズムへ ～
- 7月 ボストン美術館
～ アメリカ最大級の美の殿堂 ～
- 8月 クロイスターズとフリック・コレクション
～ ニューヨークの輝ける宝石たち ～
- 9月 メトロポリタン美術館
～ The Pride of America、アメリカの誇り ～

《 参考書籍 》

- ◆ 「西洋美術史を変えた名画 150」 辰巳出版／1500 円 (税別)
- ◆ 世界のビジネスエリートが身につける教養・西洋美術史
ダイヤモンド社／1600 円 (税別)